

2017 年度前期「シラバス」

<アジア共同体論特別講座>

— 本講座は本大学が 2017 年度前期に「アジア共同体論特別講座」として編成した一般教養講座です。

— 本講座は 15 週、週 3 時間の授業に編成して、運用します。

— 講師は事情によって変動可能性があります。

-講義の内容-

1 週:オリエンテーション(3月2日)

— アジア共同体論の可能性及び重要性について(講座の意義説明)

— 東洋哲学から考える東アジア

担当: 兪成善(江原大学)

2 週 今、なぜアジア共同体なのか (3月9日)

担当: 鄭俊坤(ワンアジア財団研究員)

3 週: アジア地域主義の展開と葛藤—モンゴルと中国、ロシア(3月16日)

担当: CHIMEDOSOR BATCHIMEG(モンゴル 平和大学)

4 週: 大衆文化と東アジア—国境を越える文化を考える(3月23日)

担当: 田世民(台湾淡江大学)

5 週: 中央アジアとアジア(3月30日)

担当: 李エレア(早稲田大学)

6 週: 東アジア共同体における宗教文化の特質と展望(4月6日)

担当: 孟賢珠(韓陽大学)

7 週：アジア談論の構造と再構成(4月13日)

担当：金俊（浙江工商大學）

8 週：中間テスト(4月20日)

9 週：台湾における少数民族政策と文化、政治(4月27日)

担当：張崑将(台湾師範大学)

10 週：東アジアの政治と経済協力から共同体構想へ(5月4日)

担当：辛炫承(尚志大学)

11 週：東アジアをどう理解してきたのかー東アジアと市民社会の役割（5月11日）

担当：李基原(江原大学)

12 週：21世紀韓国人の identity と人文教育の関連性に関する治癒的接近（5月18日）

担当：金善姬(江原大学)

13 週：東亞三國の相互認識（5月25日）

担当：聶友軍（浙江工商大學）

14 週：アジア的寛容の問題ーインドを通じて考えるアジア的配慮と疎通の問題(6月1日)

担当：Sanjay Kumar(インドネール大学)

15 週：期末テスト(6月8日)

担当：俞成善（江原大）